

2018 年度 第 1 回 治験審査委員会議事録概要

2018.4.17.

1. 開催日時 2018 年 4 月 9 日（月） 18：00～19：00
2. 開催場所 C 館 4 階 401 会議室
3. 出席者 稲垣委員長、三村副委員長、菅原副委員長、菊地委員、桑原委員、坂井委員、椎名委員、諏訪委員、武村委員、多部田委員（初回審議 1）、
土屋委員、出戸委員、林委員、安本委員、山本委員 （五十音順） （以上 14～15 名、うち採決人員 12～14 名）
- 欠席者 岩岡委員、多部田委員（初回審議 2 以降）、平野委員

※委員会の議事進行は稲垣委員長が務めた。なお、稲垣委員長に係る議題に関しては三村副委員長が議事進行を務めた。

4. 審議事項

==初回審査==

	課題名・依頼者	実施診療科 関連する委員	審議概略	審査 結果
1	子宮筋腫患者を対象に vilaprisan を投与した際の有効性及び安全性を評価することを目的とした多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験 ーバイエル薬品株式会社ー	産婦人科	採決：14 名、 審議時間：20 分 初回審査資料に基づき、当院における治験実施の適否を審議した。 指摘事項： ➤ 説明文書・同意書 1) 内容が解るように具体的な記載にする 2) 明確な表現にする	修正の 上で 承認
2	糖尿病性腎臓病（DKD）と臨床診断された 2 型糖尿病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せした finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 代謝内科 稲垣委員長	採決：12 名、 審議時間：16 分 初回審査資料に基づき、当院における治験実施の適否を審議した。 指摘事項： ➤ 説明文書・同意書 1) 文脈を考慮した文字使いをする ➤ 補足説明文書 1) 内容が解るように具体的な記載にする	修正の 上で 承認

==継続審査==

	課題名・依頼者	実施診療科 関連する委員	審議概略	審査 結果
1	ACZ885 の MI 後患者を対象とした国際共同試験 (CANTOS study) ーノバルティスファーマ株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	承認
2	冠動脈疾患を合併した非代償性心不全発現後の心不全患者における全死亡、心筋梗塞及び脳卒中発症の抑制に関して、プラセボを対照としたリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討することを目的とした無作為化、二重盲検、イベント主導型、多施設共同試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	採決：13 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	承認
3	急性脊髄損傷患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較試験 第Ⅲ相試験 ー医師主導ー	整形外科 三村副委員長	採決：13 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験に関する変更申請 1 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
4	ファイザー株式会社の依頼による成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第 3 相試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	承認
5	膝関節または股関節の変形性関節症患者を対象とした Tanezumab の長期安全性および鎮痛効果を皮下投与により評価する第 3 相多施設共同無作為化二重盲検実薬対照試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間 1 分 ・重篤な有害事象に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験に関する変更申請 1 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
6	膝関節、股関節または肩関節の関節全置換術を実施した tanezumab 試験の被験者を対象とした第 3 相多施設共同長期観察試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間 1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	承認
7	リウマチ患者を対象とした ASP015K 継続投与試験 ーアステラス製薬株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験実施状況報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	すべて の審議 につい て承認

8	第一三共株式会社の依頼による非弁膜症性心房細動患者を対象とした DU-176b（エドキサバン）第Ⅲ相試験 ー第一三共株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	採決：12 名 審議時間：3 分 ・重篤な有害事象に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験に関する変更申請 1 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
9	左室駆出率が低下した心不全（HFrEF）患者を対象に、経口 sGC 刺激薬 vericiguat の有効性及び安全性を検討する無作為化、並行群間、プラセボ対照、二重盲検、イベント主導型、多施設共同、ピボタル、第Ⅲ相、臨床アウトカム試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長 薬剤局 菅原副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験に関する変更申請 1 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
10	メトトレキサートによる治療で効果不十分な関節リウマチ患者を対象とした E6011 の用量反応性試験 ーエーザイ株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 1 件について治験継続の適否を審議した。	承認
11	アステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした AMG423 の第Ⅲ相試験 ーアステラス・アムジェン・バイオフーマ株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長 薬剤局 菅原副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
12	日本新薬株式会社の依頼による NS-304 の臨床試験 ー日本新薬株式会社ー	整形外科 三村副委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認
13	糖尿病性腎臓病（DKD）と臨床診断された 2 型糖尿病患者における心血管系疾患の罹患率及び死亡率の低下に関して、標準治療に上乗せした finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	採決：12 名 審議時間：1 分 ・安全性情報等に関する報告 2 件について治験継続の適否を審議した。 ・治験に関する変更申請 1 件について治験継続の適否を審議した。	全ての 審議に ついて 承認

5. 報告事項

	課題名・依頼者	実施診療科 関連する委員	報告内容
1	冠動脈疾患を合併した非代償性心不全発現後の心不全患者における全死亡、心筋梗塞及び脳卒中発症の抑制に関して、プラセボを対照としたリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討することを目的とした無作為化、二重盲検、イベント主導型、多施設共同試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	・ 保険契約証明書の変更：保険期間の更新について報告した。
2	ファイザー株式会社の依頼による成人の慢性腰痛症患者を対象としたTanezumabの第3相試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	・ 治験実施計画書別紙の変更：治験実施体制の変更について報告した。
3	膝関節または股関節の変形性関節症患者を対象としたTanezumabの長期安全性および鎮痛効果を皮下投与により評価する第3相多施設共同無作為化二重盲検実薬対照試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	・ 治験実施計画書別紙の変更：治験実施体制の変更について報告した。
4	膝関節、股関節または肩関節の関節全置換術を実施したtanezumab 試験の被験者を対象とした第3相多施設共同長期観察試験 ーファイザー株式会社ー	整形外科 三村副委員長	・ 治験実施計画書別紙の変更：治験実施体制の変更について報告した。
5	第一三共株式会社の依頼による非弁膜症性心房細動患者を対象としたDU-176b（エドキサバン）第Ⅲ相試験 ー第一三共株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	・ 損害保険付保証明書の変更：付保証明書の更新について報告した。
6	第一三共株式会社の依頼による第Ⅰ相試験 ー第一三共株式会社ー	脳神経外科	・ 損害保険付保証明書の変更：付保証明書の更新について報告した。
7	糖尿病性腎臓病（DKD）と臨床診断された2型糖尿病患者における心血管系疾患の罹患率及び死亡率の低下に関して、標準治療に上乗せしたfinerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間、イベント主導型試験 ーバイエル薬品株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	・ 治験実施計画書等修正報告：2月の治験審査委員会での指摘事項に従い修正し、院長の確認を得たことを報告した。

(当日報告)

	課題名・依頼者	実施診療科 関連する委員	報告内容
1	ACZ885 の MI 後患者を対象とした国際共同試験 (CANTOS study) ーノバルティスファーマ株式会社ー	循環器内科 稲垣委員長	・ 治験実施計画書添付資料 5 の変更：治験実施責任者等、実施体制の変更について報告した。
2	がん患者を対象とした HFT-290 の第Ⅲ相試験 ー久光製薬株式会社ー	腫瘍内科 平野委員 呼吸器内科 多部田委員	・ 治験に関する変更申請：治験分担医師の変更について迅速審査が行われ、承認されたことを報告した。（審査終了日：2018 年 3 月 28 日）
3	日本新薬株式会社の依頼による NS-304 の臨床試験 ー日本新薬株式会社ー	整形外科 三村副委員長	・ 治験実施計画書別紙 1 の変更：治験依頼者の担当者異動による変更について報告した。